

平成27年度 各施策に対する各課の主な事例

施策 1	計画段階からの合意形成手続きの積極的導入・推進	0	施策
施策 2	関係機関等との調整による協議手続きの迅速化・簡素化	0	施策
施策 3	事業評価の厳格な実施による透明性の向上	0	施策
施策 4	重点的な投資や事業の進捗管理の徹底による事業効果の早期発現	0	施策
施策 5	公共事業に係る計画的な用地取得の推進	0	施策
施策 6	新技術基準類の積極的な活用	7	施策
	下水道整備課 6件 その他 1件	FFT-S工法、SPR工法、シームシステム工法により社会的影響の低減が出来る。	
施策 7	技術基準の弾力的運用（ローカルルールの設定）	0	施策
施策 8	合理的な計画・設計の推進	69	施策
	下水道整備課 37件 学校施設課 13件 管財課 4件 土木課 4件 市街地整備課 3件 住宅課 2件 その他 6件	使用材料を見直し、塩ビマンホール防護蓋、汚水柵防護蓋の仕様を変更。 歩車道境界ブロックの新設を見直し、再利用設置とした。 既存校舎トイレを利用することで、仮設便所を設けなかった。 劣化状況が軽微又は健全な一部の内装仕上・下地材については、既存を再利用した。 別棟3施設で建築するところを統合し、1施設とすることで建設費を縮減した。 新規側溝のうち一部の区間について、既設側溝を布設替えし再利用することとした。 仮設橋を建設しないことにより大幅なコスト縮減を行った。 内部間仕切壁等を在来工法とせず、パネル工法としてコストの縮減を図った。	
施策 9	工事における事業間連携等の推進	6	施策
	水道整備課 5件 市街地整備課 1件	市街地整備課（拡幅工事発注）との施工時期調整の結果、水道工事から舗装本復旧を省くことが出来た。 道路維持課の舗装打替えに先立ち施工を行い、舗装本復旧の面積を減じた。 橋梁架け替えとの同時施工により、足場の共用化を行った。 宮崎港を無償で借地することが可能となり、借地料を削減することが可能となった。	

施策10	建設副産物対策等の推進		37	施策
	区画整理課	20件	他工事で発生した土砂を活用することで、整地工事費を削減できた。	
	公園緑地課	4件	他工事との調整により、残土を任意処分(4.0km)から仮置場搬出(0.3km)とし、他工事で流用することでコスト削減を図った。	
	文化財課	3件	他工事との調整により、盛土に利用する土砂を受入れることでコスト削減を図った。	
	市街地整備課	1件	宮崎港にストックしていたぐり石について国交省や県と調整を図り、捨石として利用されることが可能となり、運搬費が削減された。	
	その他	10件		
施策11	施工の効率化及び品質確保の推進		0	施策
施策12	公共工事等における新技術活用システム（NETIS）等を通じた民間技術の積極的活用		5	施策
	土木課	5件	路床改良工法として従来の方法ではなく、F e 石灰工法を採用した。 NETISを活用し、水替費の削減を行った。	
施策13	工事に伴うCO2排出の抑制による地球温暖化対策の一層の推進		5	施策
	管財課 他	5件	従来型（蛍光灯・HID）照明器具をLEDにすることでCO2排出量を抑制する。	
施策14	社会的影響の低減（騒音・振動等の抑制、工事による渋滞損失の低減、事故の防止）		0	施策
施策15	新技術の活用による維持管理技術の高度化		0	施策
施策16	施設の長寿命化を図るための新技術基準類の活用		5	施策
	管財課 他	5件	【共通】従来型（蛍光灯・HID）照明器具をLEDにすることでLCCを削減する。	
施策17	効果的な維持管理システムの構築による公共施設の長寿命化の推進		0	施策
施策18	地域の実情や施設特性に応じた維持管理の推進		0	施策
施策19	総合評価落札方式の試行継続		0	施策
施策20	企業の持つ技術力・経営力の適正な評価		0	施策
施策21	複数年にわたる工事の円滑な執行のための手続き改善		0	施策
施策22	市場を的確に反映した積算方式の整備		0	施策

施策合計	134	施策
------	-----	----